



ふじさわSDGs共創パートナー宣言書



(様式2)

わたしたちは、SDGsの達成に向けて取り組み、
藤沢らしさを未来に引き継ぐことに貢献します。

		宣言日	2023年1月22日
企業・団体名	NPO法人明るい社会づくり運動 明社かながわ湘南		
代表者	松長 泰幸		
所在地	〒 251 - 0011 藤沢市渡内 3-11-20 横田佳代子方		
ホームページ	https://www.meisha.jp/prefec/ケニアに苗木300本を寄付		
自己紹介			
<p>明社かながわ湘南は、平和の心を家庭・社会・国家に広げ、一隅を照らすことを目的として発足しました。中でも、ケニア共和国の半砂漠地域にあるイシンヤ地区での、環境教育を兼ねた植林緑化運動は、大きく花開いています。2020年2月11日に、NPO ICA文化事業協会佐藤理事長に300本の苗木を委託し、ケニアの小学校の生徒一人に一本ずつ苗木を植え、育てていただく「一緑運動」を行いました。この運動には、多くの方々の寄付と、応援をいただきました。これからも、環境保全のために、SDGsを推進し、一人でも多くの方々に、地球を緑にする「一緑運動」に参加と協力をいただけるよう、普及啓発活動に努めてまいります。</p>			
No	2030年に向けた取組		関連するゴール
1	<p>やせた土地、不安定な降水量、質の悪い種、化学肥料の過剰使用、農業技術の不足等で十分な収入が得られず、現在も深刻な貧困状態にある農業従事者が多数いる。そうした人びとの自立のために、地場産業の開発と雇用拡大をめざして、地域の主要産業である農業（養鶏、野菜栽培、アグロフォレストリー（森を作りながら、農作する手法））の技術指導を実施する。</p>		
2	<p>地域の資源を生かした環境農業・自立農業を構築し、農業従事者の生活水準を向上させることで、貧困消滅を目指す。</p>		
3	<p>自立農業によって、養鶏、野菜づくり、堆肥づくり等が相互に補い合いながら、住民自らがメンバーとなったコミュニティー開発委員会を発足し、地域の社会経済を安定に導く、組織の基盤を作る。</p>		
4	<p>藤沢東ロータリークラブと協力し、藤沢市内でケニアにおける環境教育を兼ねた植林緑化運動の周知・普及啓発運動を行う。 加えて、藤沢市社会福祉協議会や、日野原重明記念かながわの会（明社かながわ湘南のメンバーも参加）と協働して、市民の心・身体・運動・栄養をテーマにした講演会を実施し、健康に寄与する取組を行う。</p>		